



主な内容

萩美術館・浦上記念館20周年 浦上敏朗(東京都)	P3
ズームアップ 劇団四季俳優 瀧山久志	P6
「山口カフェ散歩」出版 國本愛(萩市)	P8
台湾台北市土林区を訪問 野村萩市長	P9
長門高校野球部監督 齋藤眞之(萩市)	P10
萩ゆかりの店 日本料理ながおか(福岡市)長岡周吾	P12

三角州の市街地を手軽に遠望できる椿東上野台の陶芸の村公園。2013～15年にグランドゴルフ場(6コース)が、今年7月には子どもが楽しめる遊具施設がオープン。

田床山からの眺めは今も昔も変わらない。右上は映画「八重子のハミング」のワンシーン。映画では田床山から見た箱庭のデルタの町並み、椿群生林、藍場川などふるさと萩の懐かしい風景がご覧いただけます。(自称・萩大好き人間 陽先生より)

第132号 2016年11月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

陶芸の村公園、田床山から望む 三角州の町並み



鉄道の父

井上勝銅像 萩駅前完成

イギリスに密航留学した長州ファイブの一人で、日本初の新橋〜横浜間の鉄道開通をはじめ、全国の鉄道敷設に尽力し、「鉄道の父」と呼ばれる井上勝の銅像「井上勝志気像」が、このたび萩駅前前に完成しました。

ストなど、市内外の方からの寄付により、1060万円が制作費に充てられました。

井上勝の功績を後世に

10月14日の鉄道の日に除幕式が行われ、約100人が参加。野村興児萩市長は「井上勝は、鉄道一筋で全国への鉄道敷設に尽力したことや、当時、萩の多くの若者が日本の近代化に尽くしたことを、広く次の世代に伝えたい」と主催者を代表してあいさつ。

銅像は高さ約1.8m（台座と合わせて約3m）。毛利輝元像、高杉晋作立志像、久坂玄瑞進撃像に続いて、京都市在住の江里敏明さんが制作。「若きイギリス時代の写真の姿が萩にはふさわしいと思った」というとおり、若い井上勝がイギリス留学中に撮影した、スコップに足かけたシャツ姿の写真を元に制作されました。

また、勝のひ孫にあたる井上勝重さん（東京都・71歳）も参列。「一生、鉄道のことしか頭になかった勝が気に入っていた写真から銅像をつくってもらい感謝します。像を見た萩の若い人に、世界を指して頑張ってもらいたい」と話しました。



- ・1863（文久3）年、英国留学
- ・ロンドンで鉱山と鉄道を学ぶ
- ・帰国後、鉄道官僚として活躍

萩の旬の食材で創作料理 はぎ御膳・はぎ弁当

10月から萩市内7店で提供

萩の風土に育まれた新鮮な食材を季節の移ろいととも、地元の料理人が各々の感性で自分たちが愛する萩を料理で表現しました。

萩市観光協会は、「萩の食」を通じて観光客の誘致を目指し、一過性ではなく持続する萩の名物料理にすることを目的に、地元の料理店等の協力により10月から「はぎ御膳」「はぎ弁当」の提供を始めました。

いずれの材料も萩産で、旬の海の幸、山の幸を使い、器には萩焼、萩ガラスなどを用いて萩ならではの食を提供することがコンセプト。食材は、ケンサキイカ、金太郎、見蘭牛、長萩和牛、むつみ豚、夏みかんなど萩の特産品、東京の日本料理店「分とく山」の総料理長、野崎洋光さんのアドバイザーを受けながら開発しました。

松村孝明会長は「萩は食材の宝庫。2018年の維新150年へ向けて『食』で情報発信したい」。昨年は、大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせて企画した



△はぎ弁当「仕出しきたむら」1,500円



△はぎ御前「割烹 千代」2,400円



△店の前にはのぼり

「ふみ御膳」「ふみ弁当」が約2万5000食となる好評を得たことから、次の仕掛けが期待されています。

萩の魚の地産地消にこだわり

ブランド化を推進した道の駅・萩シーマートが2001年にオープンしてはや15年、萩の食文化を発信する定番料理がようやく誕生しようとしています。

参加店舗

◎はぎ御膳（4店）

- ・割烹 千代（今古萩、☎0838・22・1128）
- ・萩の御厨 高大（唐樋町、☎22・0065）
- ・萩の宿 常茂恵（土原弘法寺、☎22・0150）
- ・庭園カフェ 畔亭（南片河町、☎22・1755）

◎はぎ弁当（3店）

- ・御食事処 わらじ（呉服町、☎22・6100）
- ・仕出し料理 きたむら（土原、☎25・1596）
- ・シズキ（吉田町、☎22・0660）

■料金（税別）

- ・はぎ御膳 2,400円（常茂恵3,500円）
- ・はぎ弁当 1,500円

萩市名誉市民 浦上敏朗さん （東京都在住、萩中43期、90歳）

ふるさと萩への熱い思い



朝鮮陶磁「青花月兎文 栗鼠耳角扁壺」

両面に描かれたカラスとウサギは太陽と月を表し、「烏兔忽忽」（うとそうそう）月日が流れるのは早いという中国の諺を示す



△葛飾北斎「風流無くてな、くせ 遠眼鏡」

世界に3点しかなく、浦上美術館はずば抜けて状態がいい。2014年米国のコレクターが売って1億2,000万円だった。

山口県立萩美術館・浦上記念館は、平成5年（1993）に萩市出身の実業家浦上敏朗氏が40年近くにわたって蒐集された浮世絵と東洋陶磁のコレクションを山口県に一括して寄贈されたことによって設立され、平成8年（1996）10月に開館しました。



特設展示コーナー（2階）「寄贈者浦上敏朗の軌跡」前

浦上さんは、すらりと背が高く立ち居振る舞いがすがすがしいので、いつまでも若く見える。かつては、東京の美術展のオープニングに奥様と必ず出席され、老夫婦のいかにも仲睦まじい姿は羨ましい程だった、と聞く。

萩を文化の香り高い町にしたい

「30000点を超える浮世絵と東洋陶磁のコレクションを山口県に寄贈するが、萩市に美術館を作らないと寄贈の話はキャンセルにしますよ、と要望し萩市になった。風光明媚な史跡のまち萩市を、東京と同時進行で企画展を見ることのできるような、文化の一大拠点にしたかった。2010年に増築された陶芸館は古萩をはじめ現代作家の作品を展示し、萩焼については日本一と自負している。」

「浮世絵は評価においても流通においても中心は海外でした。そ

ここで私が日本浮世絵商協同組合を作りしました。日本で作られた浮世絵の名品のほとんどが海外にあつて、その取り扱いや、鑑定、価格決定もクリスティーズやサザビーズなどで行われていました。その現状を知って、日本人として恥ずかしくないのか、との思いからです。私の人生で一番よい仕事か、日本浮世絵商協同組合を作ったことかもしれません。その後、日本でも浮世絵の評価が高まりましたから。」

「受けた恩は石に刻め」

▼執着を重ねて集めたコレクションをなぜ寄贈しようと思われたのですか？

「きっかけは病気でした。昭和59年、59歳の時に大病をしたんです。入院先のラジオから流れてきた「知恩報恩、かけた情けは水に流せ 受けた恩は石に刻め」という言葉が、急に響いたんです。その一瞬に、自分が命の次に大事にしているものを公共のものにしよう、と決めたんです。なぜかというところは思春期の多感な時期に母を亡くして、ものすごいショックを受けました。そして今度は戦争です。私は特攻隊の生き残りで、出撃する直前で終戦になって助かったんです。だから命なんて儂い、生前にどれだけ持っていたても結局は無になるといふことを実感

してるとですね。」

「放てば手に満てり」

▼近隣の小中学校には授業の一環で来て欲しいと仰つてますが・・・

「開館後、一番嬉しかったのはある中学生と話した時に、「放てば手に満てり」という禅語が好きだったことから、「思い切つてものから手を放してみれば、逆に多くのものがその手いっぱいに入ってくる」という意味で、私も全部寄贈したから心は満足している」と話しました。そうしたら親御さんから「息子が浦上名誉館長との話に感動して熱く語ってくれました」と礼状をいただいた。それが今や親の跡を継いで医者になっています。やっぱり子どもを大事にしなきゃいけないと実感しました。」

収蔵を充実させたい、より良くしたいという思いで、贅沢をせずにお金を貯めては古美術を買い、開館後も毎年寄贈を続けている浦上さんのふるさと萩への熱い思いに、萩市民の一人として感謝し何度も美術館に足を運びたい。

□参考

「或る美術コレクターの生活」浦上敏朗（1996年、平凡社）
美術誌「目の眼」2013年7月号

明治日本の産業革命遺産と萩

（番外編）萩反射炉と木戸孝允

木戸孝允の意外な一面

長州藩は、安政三年（一八五〇）に反射炉を試作した。反射炉を築く目的は、欧米列強に対する危機意識が高まるなか、海岸防備すなわち海防の強化のため、洋式の鉄製大砲を鑄造することであった。ところが、長州藩は同年十一月、財政的・技術的な困難を理由に、反射炉を本格的に建設することを断念する。したがって、現存する萩反射炉は、安政三年に長州藩が試作したものと考えられる。

こうした動きのなかで、長州藩内に反射炉の建設中止に待ったをかけようとする人物がいたことは、あまり知られていない。その

人物が木戸孝允（桂小五郎）であると聞けば、意外に思われる人も多いであろう。木戸が長州藩に洋式軍艦を建造すべきことを意見し、恵美須ヶ鼻造船所（ひしんまる）が建造されるきつかけをつくったことはかなり知られるようになったが、今回は、彼が反射炉にどう関係したのか、知られざる一面を紹介することにしたい。

反射炉の試作と本式反射炉建設の中止

長州藩における反射炉の試作と本式反射炉建設の中止について、簡単に確認しておこう。

長州藩は安政二年（一八五五）八月、藩士岡義右衛門・山田

宇右衛門・藤井百介、大工棟梁小沢忠右衛門の四名を佐賀藩に派遣する。佐賀は、日本で初めて反射炉が築かれた最先進地であった。彼らは、反射炉の技術的な伝授を断られたものの、見学を許され、小沢が見取り図を作成して持ち帰った。そこで長州藩はその図面を頼りに、安政三年（一八五〇）に反射炉を試作する。ところが、

同年十一月、経費的、技術的な困難を理由に、本式の反射炉の築造を中止する旨の沙汰書が出された。これ以降、長州藩が反射炉を再度築造したことを示す史料はない。よって、萩反射炉は試作段階で終わったものと結論づけられる。

注目すべきは、本式の反射炉築造を中止するという旨の沙汰書である。この沙汰書は、蔵元兩人（経費出納事務担当者）の伺いに対して、藩主毛利敬親が承認する形をとっている。伺いの部分を要約すると、「反射炉で鑄造する銃器は精鉄となり、破裂の恐れも少なく、人力も節減できるので、たたらで青銅製大砲を鑄造するの

に比べれば相当経費も抑えられ、便利であることが明らかになった。そこで反射炉を試作し、大砲そのほかの鑄造を試みるよう命じられた。しかし、本式に築造するには平錐台（中ぐり盤）などの諸設備に莫大な経費がかかり、資金繰りが難しい。また、佐賀藩でもまだに研究中とのことである。よって、本式の反射炉を建設するのは、機が熟するまで見合わされてはいかがか」というものであった。要するに、長州藩の反射炉建設がストップした理由は、技術的に未熟であるという側面もあったとはいえ、一番の問題は資金がないというところにあったのである。

木戸孝允、反射炉の必要を力説！

萩における本式反射炉の築造が中止となった安政三年（一八五〇）の冬、木戸孝允は江戸に滞在していた。木戸は、そのことを知るや否や、岡義右衛門に対して、反射炉築造を再開すべきことを強く訴えた。前に確認したように、岡は、佐賀藩の反射炉を視察した四名の中心的な人物であった。以下では、木戸と岡との間でやりとりされた手紙にもとづいて、どのような議論がなされたかを具体的に確認してゆこう。『木戸孝允文書一』

も木戸と同様、江戸に滞在していたことは確実である。

本式反射炉の築造中止の沙汰書が出されてから、一月以上が経過した安政三年十二月二十九日、木戸孝允は岡義右衛門に対して、つぎのような内容の手紙を送った。木戸は、「反射炉による鉄製大砲鑄造の決定は目下の大急務であると主張する。そして、岡の手元に「調らへ之書付」が届いたと聞いたが、その「書付」の撤回について藩に意見するよう、早々の決断を願うとある。この「書付」は、先ほど要約で示した、安政三年十一月十九日付けで出された本式の反射炉の築造を中止する旨の沙汰書を目指すと考えて間違いない。木戸は翌三十日にも、岡に対して手紙を送りつけた。木戸は、前日送った手紙に対して岡から即座に返信があったというが、その返信は現在確認できない。それはともかくとして、木戸は再度、反射炉の必要を強調し、岡に対して決断を迫る。木戸は、同僚らへもじっくり相談すべきだが、資金不足で中止するわけにはいかないことと、納言金（藩主手許金、特別会計）の有無にかかわらず早々に反射炉を築造せねばならないこと、それでも不足する場合は本勘（本会計）で支援することなどを、来る元旦（安政四年元旦）に進言されてはどうかと主張する。急務であるた



本式の反射炉の築造を中止する旨の沙汰書（「諸記録綴入」山口県文書館蔵）

「萩ジオパーク」
認定見送り

「日本ジオパーク」入りを目指す萩市のジオパーク構想は9月9日、日本ジオパーク委員会が発表した新たな認定地域に追加されず認定見送りとなった。

審査結果では、認定見送りの理由を「萩まちじゅう博物館構想とジオパーク構想との互いの位置づけが明確でなく、ジオパーク運営に向けた組織運営の整備に課題が残る。学術的支援をする人材や研究者が乏しく、不安がある」と指摘された。

2015年に萩ジオパーク構想推進協議会を立ち上げ、今年4月

に日本ジオパークネットワークへ正会員加盟申請書を提出していた。推進協議会（会長・野村萩市長）では指摘された問題点の解消に努め、来年再挑戦する。

永尾隆志先生が2014年春に地学部門専門員として萩市に就任してから2年という短期間に提案まで準備できたのは、地域の自然・歴史・文化など遺産（お宝）を登録・活用する萩まちじゅう博物館の取り組みがあったからこそだが、それが強みであり、弱点ともなった格好。各地域での講演、「萩ものがたり」の執筆など啓蒙活動に多大な功績のあった永尾先生が、今年4月に急逝された。ご冥福をお祈りします。

来年オープン
明倫学舎



明倫学舎
HAGI MEIRINSYOKUSHA

運営団体が発足、
料理店「千代」出店

萩の新しい観光起点となる「萩・明倫学舎」（江回）を運営するNPO法人が9月13日設立された。年内にNPO法人として登記される予定。萩博物館、萩図書館と同様、行政との協働による管理運営を目指す。

また、施設内に設置される飲食スペースには、公募により萩市今古萩町の料理店「割烹 千代」（代表 河村剛太郎）が出店することが決まった。萩の食文化の発信拠点を目指す、という強い意欲が評価された。営業時間は午前11時〜午後9時。「萩・明倫学舎」は、明治維新の原動力となった人材を育んだ萩藩校明倫館の跡地に立つ旧明倫小学校4棟を活用した施設。来年2017年3月4日にオープンする。

めぐまざるせず、今日中に、すなわち新年を迎える前に決定すべきだと、岡に対して強く訴えたのである。

岡は、これに対して即日返信を出した。岡は、十年以上も前から反射炉での鉄製大砲鑄造の研究をしてきたが、容易には製造することができず、一、二度は造り替える心積もりで着手したと述べる。さらに、多くの人には相談せず、ただ一人「老吏」にだけ密かに相談したいという。そして、明るく年を正月二日に萩へ帰り、三日に相談を済ませ、四日には返答できるだろうから、そのうえで発令というのはいかがか、今日は面会して話したいとつづる。江戸から萩への一両日程度での高速移動は、当時の交通手段では無謀であるが、それほどまでに岡は、苦しい状況に追い込まれていたのである。

問題は、岡がいう「老吏」、つまり彼が相談したいと考えていた唯一の相手が誰かであるが、前田孫右衛門とみて間違いない。実は、

反射炉の試作に向けて準備が開始された安政二年十一月時点で、前田は三須市郎兵衛とともに、経費出納を担当する蔵元両人役の任にあつた。ところが、前田は安政三年四月に当役主元役に転任し、本式反射炉の築造が中止された安政三年十一月時点で蔵元両人役は、三須と福原荒助に替わっていたのである。つまり岡は、以前同様

反射炉に理解のある前田が蔵元両人役に再任すれば、新たな反射炉の築造に向けて再スタートできるのではないかという希望を持っていたと考えられるのである。

萩反射炉は試行錯誤の物語

結局、反射炉の再築造は実現しなかつたが、重要なのは、岡義右衛門が反射炉を一、二度は造り替える必要があると認識していたことである。岡は、佐賀で反射炉を視察した際、担当者から反射炉の操業に至る苦労話を聞いていた。だからこそ、萩での反射炉の築造が一度で成功するというような甘い考えをもち、必ず試行錯誤が伴うと考え

たと思われる。だからこそ木戸は、岡義右衛門に対して執拗に手紙を送り、本式反射炉の築造を実現すべきだと力説したのである。

以上の木戸孝允と岡義右衛門の手紙の応酬から、萩反射炉は試作段階の反射炉であつたことが傍証された。このことを踏まえ、現存する萩反射炉を改めて点検してみよう。萩反射炉の高さは約一〇・五メートルで、オランダの技術書に忠実に築かれた葦山反射炉が約十六メートルあるのに比べれば、六割五分程度の規模しかない。また萩反射炉の煙突部分は、基底部から高さ約八メートルまでが安山岩、残りの上部約二・五メートルがレンガで構成されており、全体がレンガで構成された葦山反射炉とは相当異なっている。こうした外観的な要素から萩反射炉は本式に築かれたものではなく、試みに築かれたものであるということが非常によく理解することができるのである。

こうして現在、萩反射炉については、文献と実物の両面からアプローチすることで正確な理解が可能なレベルにまで研究が進んだ。今回紹介した内容は、二〇一四年に発表した拙稿「萩反射炉再考」（『日本歴史』七九三号）に基づいているので、併せてご覧いただければ幸いである。



木戸孝允肖像写真（萩博物館蔵）

一方の木戸は、江川太郎左衛門（英龍）や手塚律蔵（謙感）に師事していた関係から、反射炉による鉄製大砲鑄造の必要を認めてい

たきやま ひさし
瀧山 久志さん

(萩市見島出身)

ディズニーミュージカル『アラジン』に
ランプの魔人ジーニー役のひとりとして
出演！



音楽との出会いは
萩合唱部

私と音楽の出会いは16歳の頃。萩高等学校合唱部に入部することから始まりました。萩合唱部といえは、中国地方屈指の強豪。その練習の厳しさも指折りと言っても過言ではないでしょう。「初恋の人を追いかけて」という浮かれ

た理由で入部したため、入部当時は先輩方の情熱と、顧問でいらっしやうた有富美子先生の迫力に圧倒され、中学時代を柔道で鍛えた私でも「入る部を間違えたかもしれない」と思う程ハードでした。そんな私も月日を重ねる中で、音楽と合唱の魅力にとりつかれた音楽少年となり、3年生の時には合唱部部長も務めさせていただきました。

そんな時、「劇団四季がオペラ歌手を探している」とのお話を先輩から聞きました。劇団四季といえは、その規模の大きさと訓えが厳しい事で有名な集団。ついていけるのか不安ではありましたが、オーディションを受け、縁あって『オペラ座の怪人』で四季の舞台に立たせていただくことが出来ました。その後、オペラ歌手としての活動をしながら、演目毎に契約をして出演する俳優として四季の作品に関わること約7年。

ました。高校3年間で燃え上がった音楽への情熱は冷めることなく、卒業後は音大進学を志望ところが両親には猛反対されました。「合唱部が凄いのであつて、お前個人が凄いわけではない」父の言葉に半分納得しながらも悔しく、有富先生の勧めで「山口県学生音楽コンクール」独唱部門に出場。そこでの入賞によって、ようやく両親から音楽大学に進学する許しを得ることが出来ました。思えばこの時、音楽家になることへの興味が芽生えたのかもしれない。しかし音楽の道は決して甘くはなく、オペラ歌手を名乗りながらもアルバイトに明け暮れ、満足に稽古もできない日々を過ごしていました。

劇団四季『オペラ座の怪人』の舞台に

1500回以上の舞台出演で感じたことは「常に技術を磨く事の大切さ」でした。芸術家で食へて行けるのは一握りである、とよく言われます。そのため自身のマネージメントや広報活動も大切な作業でしょう。しかし、果たして自分磨きに集中出来ているのか。それを自分に問いかけた時、劇団四季への正式な入団を決意しました。舞台を共にする仲間と切磋琢磨する日々は刺激的で、しばしば合唱部時代を思い出します。

『アラジン』ジーニー役とめぐり合う

ミュージカル『アラジン』のジーニーというかけがえのない役とめぐり合うことができたのも貴重なチャンスでした。『アラジン』は劇場版長編アニメーションをもとに舞台化した作品。大きなブレッ



『アラジン』ジーニー役 撮影：荒井健 © Disney

チャーもありましたが、役と向き合うことで、自分の限界に日々挑戦していると実感しています。国内唯一のミュージカル誌「月刊ミュージカル」にて発表された2015年ミュージカル・ベストテンでは『アラジン』が総合一位。私自身も男優部門で賞をいただくことが出来ました。『アラジン』の世界をお客様に楽しんでいただけているのだとあらためて実感することができ、大変嬉しかったです。

決して楽ではない道を、今なんとか前進できているのは、間違いなく汗と涙を噛み締めた「音楽少年」が背中を押してくれているおかげ。歴史の街・萩が育んだ萩市民のひとりとして、誇りを持って今日も作品に臨み歌いたいと思います。

■プロフィール

萩市見島出身。萩高校(54期)、大阪芸術大学音楽学科卒業。2007年随時オーディション合格。演目契約を結び『オペラ座の怪人』で劇団四季の舞台に初参加。その後、2015年4月劇団四季に入団し、『アラジン』ジーニー、『キャッツ』アスパラガス、グロルタイカー/バストファー ジョーンズを演じている。

萩高合唱部 初の全国大会W出場

合唱部55人は全校の10%以上

萩高校合唱部は、今年10月8日、東京都のNHKホールで行われた「第83回NHK全国学校音楽コンクール」(Nコン)に中国ブロック代表(5県から1校)として出場しました。

首都圏在住の同窓生、東京指

月会の有志も応援に駆けつけ、全国のブロック代表11校のうち、優良賞を獲得しました。

Nコンの様子は全国に生中継され、学校紹介のコーナーでは、世界遺産・萩城下町のなかにある高校としてPR。全在校生



△全国生放送(Nコン)



△練習の合間に 有富美子先生

指揮を務めた有富先生に聞きました。

「全国大会では生徒の歌う表情がすごく良くて、落ち着いて気持ちよく歌っていたし、緊張感が途切れなかった。現在の合唱部は、吸収力がすごくあって学ぼうとする力が強い。松屋先生が基礎をしっかり教えているので、鍛えるほど巧くなってきました。将来的にも伸びしろがあるので、楽しみです」

合唱部OBで劇団四季俳優の瀧山さんについても聞きました。「『アラジン』のジーニー役は、彼の当たり役ですね、長所がいっぱい出ています。声の表情がすごくあって魅力的でした。今でも交流が続いています」

■公演情報

ディズニーマジカル『アラジン』

砂漠に囲まれた神秘と魅惑の都アグラバー。その下町に暮らす貧しい青年アラジンは、「自由」を求めて王宮を抜け出した王女ジャスミンと出会う。そして、魔法のランプをめぐる冒険が始まる！

日程：ロングラン公演中

会場：大同生命ミュージカルシアター 電通四季劇場「海」

港区東新橋1-8-2

チケット：劇団四季予約センター

(午前10時～午後6時)

☎0120-489444

■問い合わせ

劇団四季 東京オフィス

☎03-5776-6730



撮影：荒井健 © Disney

■月刊ミュージカル

2015年ミュージカル・ベストテン

▽作品部門第1位『アラジン』



2016年3・4月号

▽男優部門第4位 瀧山久志(アラジン)

男優ベストテン

「男優 BEST 10」	
1	松本幸四郎 (オウゴンキョウ)
2	井上 芳雄 (エリザベット)
3	山本 耕史 (メッツァ)
4	瀧山 久志 (アラジン)
5	市村 正親 (カウボーイボウイール)
6	鈴木 壮麻 (エンドオブザラン)
7	城田 優 (エリザベット)
8	中川 晃教 (CHESS HEADS UP)
9	石丸 幹二 (タイムタイマー)
10	屋良 朝幸 (トックアイランド)

楽しさで圧倒した『アラジン』

2014年ブロードウェイ初演作、原作はディズニーマジカル・アニメ。アラジンとジャスミン姫のラブ・ファンタジーにジーニーとの友情、仲間たちとの絆を描く。一番の見せ場は、ジーニーの「フレンド・ライク・ミー(理想の相棒)」、一気に歌い踊る賑やかなナンバー。ジーニー役を軽やかに温かく演じた瀧山久志は、ぴったりの役に巡り会い大きな花を咲かせた。

(演劇評論家 萩尾瞳 評 抜粋)

「山口カフェ散歩」を出版

千葉市から移住した 國本愛さん

(西田町、41歳)



品が並ぶ画材屋「萩画房」。そして、もう半分は、ピタ(中東サンド)が味わえるカフェでもあり、週末の夜にはバーとしても営業されている「81/2(ハッコニブンノイチ)」という店で、それが店主である夫ゆうじさんとの出会いです。

結婚を機に、萩へ

自然豊かな場所で子育てをしたいと思っていたこともあり、2010年、35歳の時、結婚を機に萩へ移住しました。まもなく娘が生まれ、しばらくは育児に専念しましたが、幼稚園入園を機に仕事を再開。そんな中、20代の頃から知り合いで、福岡の出版社・書肆侃侃房の代表から、「山口カフェ散歩」執筆のお話をいただきました。話を聞くことも、食へることも大好きでしたし、いつか本を出版してみたいと思っていたので、喜んでお引き受けしました。

自分の「良い」を伝えたい

取材にあたり、信頼できる友人やインターネットから情報を集め、県内の約80店のカフェに実際に足を運びました。もちろん、コーヒーはマシンを使わずに、豆を挽き、ハンドドリッパーするお店ばかり。南米まで豆を仕入れに行くカフェもあれば、自然栽培や無農薬無添加の食材にこだわるカフェと

いった店主の情熱や信念が感じられる店をはじめ、古い街並みや田んぼの中に佇む古民家カフェ、瀬戸内海を眺めることができるカフェ、川のせせらぎをBGMにコーヒーが味わえるカフェなど、私にとつての「山口らしさ」が感じられる50店を取材。

店が生まれた背景や店主が歩んできた道についてもじっくりと話を伺い、自分が肌で感じ取った想いも膨らませつつ、それぞれのこだわりやストーリーを綴りました。言葉で表現するのは難しかったですが、自分が「良い」と感じたものを紹介できる仕事にやりがいを感じました。約1年かけて取材・執筆した本が完成した時には、本当に嬉しかったですね。

新たな目標

周囲からは、お店の情報だけで

なく、内面を掘り下げていて良い本だねと言っていたことが多く、本を片手にカフェ巡りをされる方もいると聞いています。実は紹介できなかったお店や取材後に知ったお店もあり、私個人としては、続編を出したいという思いがありますね。

また、今後は、萩をテーマにした本も出版してみたいです。せっかく萩に住んでいるので、おもしろい人や素敵なお店、あまり知られていないけれど、雰囲気や佇まいが良い場所などを紹介できたらと思います。そして、最大の目標は、いつか、家族3人で海外のさまざまな地を訪れ、現地で何かしの仕事をしながら旅をし、それを本にできたら良いと思います。できれば、イラストも入れながら、自分の感性で紹介できたら良いですね。

県内のカフェ50店を紹介した「山口カフェ散歩」(書肆侃侃房刊)が昨年12月に出版されました。萩市内のカフェ10店も掲載されており、話題を集めています。イラストレーターとして活動しながら、本を執筆された國本愛さんにお話を伺いました。

イラストレーターとして

活動

千葉市出身の私は、東京都内の美術専門学校在学中から、マガジンハウス社で編集アルバイトをし

ており、卒業後も、フリーのエディターやイラストレーターとして仕事をしていました。もともと東南アジアを中心に旅するのが好きで、27歳の時、南米ペルーへ渡り、3年半ほどイラストや日本語の講師をしながら滞在。帰国後は、千葉の会社に勤務し、デザイナーイラストの仕事をしていました。2008年、33歳の時、出張で訪れた萩市内を散策していたところ、お成り道沿いに、自分好みの怪しげな店を見つけ、足を踏み入れました。店の半分は、アート作

■書籍紹介
九州・中国など各県版も出ている人気シリーズ「カフェ散歩」山口版
A5版 1,300円(税別) 書肆侃侃房
☎092・735・2802
■店紹介
「ピタ&バー 81/2ハッコニブンノイチ」
萩市西田町24 萩画房隣
営業時間/金土曜のみ営業 20:00~
☎0838・22・2427



△店主の國本ゆうじさん(58歳)「築200年の古民家の中は奥が週末バー。秘密基地にやってきた少年少女のような顔で客は扉を開ける。そこに異国風・國本ワールドが広がる」(山口カフェ散歩から)

野村 秋市長

— 寄稿 —

台湾・台北市士林区を訪問

10月2日から4日にかけて、野村秋市長を含む秋市訪問団及び市民号として総勢38名が台湾台北市を訪問し、士林国際文化節に招待されるとともに友好交流に関する覚書を締結しました。



▷士林国際文化節



△芝山巖関係資料(校史館に展示)



△士林小学校の校史館

秋の10月とはいえ、今夏の酷暑の夏を思わせる3日、台北市士林区役所において士林区と秋市が友好・交流協力の盟約を締結。秋からの総勢38名の訪問団は3日間にわたり大歓迎を受ける。

まずは今回の訪問までの経緯について紹介したい。

大きなきっかけとなったのは、3年前の台北駐福岡経済文化弁事処の戒処長（総領事に相当）の国慶日記念のスピーチ。「我々は縁を大切にし、恩を忘れない」と語り始め、台湾の振興と発展に多大な貢献をした日本からの学者、研究者、行政官の名前を挙げ詳しく説明。問題はあっても「是は是」とする率直で心を打つ内容。終わっても会場では拍手が止まない。台湾との交流を志向する大きなは

ずみとなった。交流先の都市については種々提案が寄せられたが、台北市の士林区が望ましいとの結論に至る。その理由は、(1) 士林は志を持つ者が林の如くいるという文字通りの台湾の教育の聖地(2) 加えてこの地区内の芝山巖の地にNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公の榎取素彦の次男道明の殉職の地。あの芝山巖事件からちょうど120年の節目の年でもある、(3) 大河ドラマは今春台湾でも放映され、知日派の多くがテレビを通して秋への理解を深めている、等の点にある。

今回の訪問には多くのスポットに御案内をいただいた。

最初の御案内は士林国際文化節（フェスティバル）、国際色豊かな企画で楽しませていただいたが、



△記念品交換 江慶輝・士林区長と野村興兒・秋市長

開催場所が士林小学校であり校内の校史館を見学して驚いた。この学校こそが、統治開始とともに明治28年（1895）6月に創設された芝山教学堂を継承する台湾で最も古い小学校。芝山巖から近くの現在の校地に移設されたもの。校史館の名の資料館には統治時代の資料が多く保存管理されている。歴代の校長とともに芝山巖事件で殉職した榎取道明を含む6人の教師の写真と解説、また浅井忠画伯の作品「湯島聖堂大成殿」（関東大震災で消失する前の姿を日本画に収められているもの）。レプリカではあるが付近の美術館に原画は保管との事。教育勅語、御真影そしてこれを保管する耐火性の金庫型の奉安所が展示等々。

ところで士林区は教育の聖地とともに、国立故宮博物院の歴史施設等を加えた観光夜市等で有名な観光都市でもある。折しも宇都空港からはチャーター便が運航されており（注）、秋市内にも台湾観光客が目立つようになった。教育・観光という共通のテーマを持つ両市・区が友好・交流の実が挙がることを期待したい。

（注）台湾の航空会社チャイナエアラインが、9月から来年4月まで山口宇都空港と台湾を結ぶチャーター便12本の運航を予定

長門高校野球部監督 齋藤 眞之さん

まさはゆき

(萩商業高校平成14年卒、33歳)



今年7月に熱戦を繰り広げた第98回全国高等学校野球選手権大会山口大会。長門高校野球部は、1959年の創部以来、初のベスト4という素晴らしい成績を残しました。萩市在住で、萩商業高校出身の齋藤眞之監督にお話を伺いました。

父の影響で野球を始める

私が、本格的に野球を始めたのは椿東小学校4年生の時にスポー

ツ少年団に入ってからです。しかし、萩商業高校時代に甲子園に出場した父の影響もあり、物心ついた頃から、野球道真がおもちゃや代わりでしたし、気が付いたら野球を始めました。小柄ではありませんでしたが、比較的動きが俊敏だったこともあり、当時から遊撃手を任せられ、萩東中でも野球部に所属。1年生の時からレギュラーに選ばれ、中国大会に出場したこともありました。非常に厳しい監督の下、野球だけな

く、根性も鍛えられたように思います。

煮え切らず終わった高校野球

中学卒業後は、東中のほとんどのチームメイトと共に、父と同じ萩商業高校へ進学。すぐにレギュラーとして試合に出場しました。2年生の秋からは主将を任せられ、監督からは、主将としての在り方や人として大切なことなども教わりましたね。そして、迎えた最後の夏。萩商業は、第2シードを獲得しており、父たちが甲子園出場を果たした昭和48年以来の山口大会の優勝、そして甲子園出場が期待されていきました。しかし、結果は、3回戦で敗退。周囲からは優位に試合を進められるだろうと言われていた相手に7回コールドで負けてしまいました。試合の途中から涙を流す選手もいましたが、私は、試合終了後も涙が流れることもなく、何か煮え切らない感情を抱いたまま、最後の夏が終わりました。

との嬉しさ、負けることの悔しさはもちろん、人間力も学ぶことができた萩商業での高校野球は、私の原点であり、人生の基盤になっています。

指導者を目指して

高校卒業後は、お声かけいただいた、関西地方の強豪・近畿大学へ進学。周囲には力のある選手が多く、実際にプロ野球選手になったチームメイトもおり、実力の差を肌で感じました。私自身、教員免許を取得し、指導者を目指したいという思いもあつたことから、2年生の時に学生コーチに転身。選手のサポートやBチームの指導などを任せられました。大学では、練習内容やノックの打ち方など、これまでの野球の概念が覆るようなことを数多く学ぶことができ、この経験が、今、指導者として大いに役立つています。卒業後は、県立西市高校（下関市豊田町）に臨時採用され、3年間、野球部の副部長を経験。その後、長門高校とご縁があり、25歳の時に商業科の教員として採用されました。6年間、野球部の部長として指導に当たり、昨年、監督に就任。2年目となる今年の夏、創部以来初のベスト4に入ることができました。あと2勝で甲子園。この悔しさを持ち、来年以降も選手と共に進んでいきたいです。

北浦から甲子園へ

母校で指導をしたいという思いは叶いませんでしたが、教員1年目から高校野球の現場に携わることができ、私は恵まれていると思います。高校野球のグラウンドにはさまざまながとが詰まっております。その奥深さを実感する日々です。また、今年の夏の大会では、萩商業時代のOBをはじめ、萩の方たちからもたくさんのご声援をいただきました。

高校野球が地域貢献のような役割を担うこともあらためて感じましたし、何か恩返しができたらという思いがあります。萩市内から通ってくる部員も数名おり、ほとんどの部員がこの北浦地域の子ともたちです。この北浦から、本気で甲子園を目指す野球部を作っていきたくて、将来、子どもたちが社会に出たときに、この地で高校野球をすることができて良かったと思えるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。



映画「八重子のハミング」 山口県内で先行上映始まる

10月29日から山口県内で先行公開が始まった映画「八重子のハミング」。

原作者の陽信孝さん（77歳）は、元萩市教育長で、若年性アルツハイマーと診断された妻、八重子さんを介護した12年間の様子を短歌をまじえて綴った「八重子のハミング」を2002年に小学館から出版。以来、陽さんは講演会で全国を駆け回っている。

講演では、家族の認知症を中心に、高齢者問題について、自らの体験を交えて話している。「医師の処方する薬だけが、本人にとつての薬ではないことを分かってほ

しい。特に若年性アルツハイマーの薬は優しさです」と訴えている。講演会は、社会教育主事の頃から今までに全国で約1300回を超え、多い年で年間80回という。皆さんもお近くで講演会があれば、ぜひご参加いただきたい。

■講演予定

11月18日 山口市（ポラントピア協会）、19日 光市（島田中学校）、20日 愛媛県鬼北町、23日 宇部市、26日 美祿市（伊佐公民館）
12月3日 三重県松阪市、6日 宇部市（上宇部小学校）

出版と映画化

陽信孝（萩高9期 昭和32年卒）

「同じこと繰り返し返す問う日々の妻繰り返し返す答われの日々」

私の5回の癌手術、告知のショックで妻を襲った若年性アルツハイマー。12年間の私自身の病との闘い、妻の病との闘いの中で思いを綴った「雲流る」（自費出版を、小学館からは「八重子のハミング（ちなみに妻は言葉は失ったが、覚えている曲はすべてハミング出来ていた）」と題し、出版していただいた。思いもかけず映画化の話はいただき、驚きとともに感謝の思いでいっぱいです。



△映画原作本を持つ陽信孝さん

☆原作「八重子のハミング」(文庫)をプレゼント

上映予定

山口県内先行ロードショー

■10月29日(土)～

- ▷萩ツインシネマ ☎0838・26・6705
- ▷シネマサンシャイン下関 ☎083・235・3001
- ▷宇部シネマスクエア7 ☎0836・37・2525
- ▷シネマ・ヌーヴェル(周南) ☎0834・21・2525

■11月12日(土)～

- ▷MOVIX周南 ☎0833・45・2600
- ▷イオンシネマ防府 ☎0835・22・9066

2017年春から東京・大阪ほか全国順次公開予定

- ▷有楽町スバル座(東京) ☎03-3212-2826

※上映時間および詳細、特別鑑賞券1,400円に関しては、各劇場にお問い合わせください。

※上映館の最新情報は「八重子のハミング」公式ホームページ>劇場案内をご覧ください。

平成29年
1月18日
放送

NHK山口発
地域ドラマ

ドラマのメイン舞台は須佐

朗読屋

◎須佐や椿東・狐島で撮影

NHK山口放送局開局75周年を記念したドラマ「朗読屋」。山口市出身の詩人、中原中也の詩を軸に、萩市須佐をはじめ県内の美しい風景と詩の朗読が響き合いつ、ファンタジックで心温まる物語です。

9月23日から萩市の狐島をはじめ、県内でロケがスタート。9月29日からは、須佐でのロケが始まり、須佐漁港や須佐湾での撮影では、弁天島に渡るシーンで、漁師役の山下真司さんが漁船にも乗船。

来年1月18日(水)午後10時5分、BSプレミアムで全国放送。須佐の美しい海や、須佐図書館など、萩出身、特に須佐出身の方には懐かしい風景が多く登場します。

また、主人公・マモルが朗読に出会ったきっかけとなる24時間図書館「スサ図書館」のシーンでは、吉岡秀隆さん、吉岡里帆さんが、須佐図書館まなぼっ館で実際に撮影を行いました。



〔左から〕緒川たまきさん、市原悦子さん、吉岡秀隆さん、吉岡里帆さん、山下真司さん、荻上直子さん

〈出演者の声〉

▽吉岡秀隆さん（西園寺マモル役）

「萩は、以前の作品で、松下手塾などを訪問した。人物が育つ、人が人を思いながら成長する土地柄だと感じました」

▽吉岡里帆さん（ヒロイン・図書館の司書 沢田ひとみ役）

「24時間図書館を知り、地域の人のために根付いている、温かい山口の人の心を感じました」

新しい日本料理の楽しみ方を提案していきたい



店内カウンター



料理 季節のおまかせコース (10品) 10,000円 (税別)



長岡周吾さん

2010年に福岡市薬院に開業した「大人のごちそう 周」が、今年8月、西中洲に「日本料理 ながおか」として移転オープンしました。

店主の地元萩と九州の食材をふんだんに用いた料理で、お客様に新しい日本料理の楽しみ方を提案します。丁寧に吟味した旬の野菜、新鮮な魚、その時にしか味わえない季節の食材とじっくり向き合うことで、本来の味のさらに向こう側まで引き出します。季節のおまかせコース(10品)は、温かいお粥から始まり、四季の野菜、魚を用いた椀物や煮物など各種、また

自家製のガラスミでお客様の手をもてなし、最後は土鍋ご飯で締めます。

こだわりの店主は、萩市出身の長岡周吾さん(39歳)。1996年に萩高卒業後、オーストラリア、東南アジアなど海外へ。99年にホテルオークラ・アムステルダム(和食)に、2003年に割烹 味美(博多中洲)に就職。10年に福岡市薬院で独立開業、6年後に移転新装。

「越ヶ浜出身なので、食材の多くを萩から仕入れています。アマダイ、ヤリイカ、アジなどの魚サザエ、海藻類、こんにゃく、たまげなすなどの野菜、日本酒では



■住所:福岡市中央区西中洲3-20連ラウンドビ103(アクロス福岡・中央公園口から徒歩3分)
カウンター(10席)、個室(2~12人)
■営業時間/ 17:30~23:30
■定休日/日曜日 ☎092・406・9181

東洋美人など多数を入荷
「2015年、スローフード協会からの誘いでミラノ万博に参加しました。和食を広める機会をいただき、数十カ国の料理人や生産者と意見を交換し、日本料理と改めて向き合い、世界に広めていきたいと強く思いました。日本料理を正しく伝えるため、日本に来られた時の窓口として、自分の店に来ていただきたいと提案。以前の店が手狭な事や、福岡から和食を世界に発信したいと思い、天神の1等地に移転しました。
1万円のおまかせコースのみで、料理のコンセプトは米と出汁(だし)、食材の味を愉しんでいただくことです。萩の食材と萩の器(萩焼)でご来店をお待ちしています」

同窓会だより

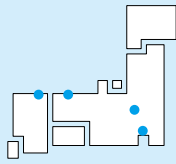
9月10日 ホテルセントラーザ博多(福岡市博多区)

九州指月会・つばき会 九州支部合同同窓会



九州地区では初めての合同開催。今年で九州指月会は25回、つばき会九州支部は8回となり、出席者は43人。

懇親会に先立ち、出前講演として赤松文雄さん(北九州市生涯学習講師)による「笑いはコミュニケーションの潤滑油」の話があり、会場が和らぎました。出身中学ごとのテーブル配置となり、萩高校・商工を越えた交流が図られました。



会員投稿

8月2日～6日

一休山会(萩高昭和42年卒)
北アルプスへ行く



イッキュウ山会は萩高校 19 期卒業 (昭和 42 年) の山登りの会です。日頃は関東地区と山口地区などで体力に合わせて山行をしています。年に一度、合同の山行きをしています。今年の参加者は東京、神奈川、滋賀、山口からの 7 名の参加でした。富山県から入り、長野県をかすめ、岐阜県に抜ける黒部川の源流部を巡る長いコースでしたが、全員無事新穂高に下山して温泉を浴びての解散でした。山小屋に着いての冷たいビールは格別ですが、高校時代の話は最高のツマミになります。写真は雲ノ平です。

藤原俊明(山口市在住)

会員投稿

10月10日 料亭高大(萩市)

萩高22期(昭和45年卒)同期会



地球の裏ブラジルで日本のアスリート達が大活躍したオリンピックが終了し、すでに 4 年後の東京オリンピックの話題も出ている頃。毎五輪年に開催をしている萩高 22 期の同期会も 9 月 10 日に開催しました。

当日の午後から希望者 10 名で「世界文化遺産ミニツアー」と題し、3 時間ほどの観光ツアーも行いました。同級生の三輪和彦くんの不走庵(三輪窯)ギャラリーを皮切りに、反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、萩高校、前回の還暦同期会のイベントとして桜を記念植樹をした陶芸公園など 8 力所を周り好評に終了しました。前回は還暦同期会でもあり 120 名を越える同級生が集まりましたが、今回も宮城県在住の津田敏行くんを最遠来者として 81 名の同級生が集まりました。2 次会はカラオケで大いに唄い、次回 4 年後の再会を誓い合い、旧交を暖めた一日でした。

事務局 和田稔(萩市椿東)

会員投稿

10月8日 萩商工高校体育館(萩市)

つばき会本部総会



今年で第 8 回となった「つばき会」本部総会は、あいにくの雨となりましたが、約 400 人の参加があり盛大に開催されました。

今年度の引受期は、商業側が昭和 55 年、平成 2 年、12 年、工業側が昭和 61 年、平成 8 年、18 年、統合後の萩商工が平成 22 年の卒業生です。この 7 学年が力を合わせ、総会を盛り上げることができました。特に若い人達の頑張っている姿を見ると、こうして新たな歴史が受け継がれていくんだと大変うれしく思います。

また、昭和 55 年卒も市外や県外から多くの同級生が集まり、楽しいひと時を過ごすことができました。

引受期代表(商業 55 年卒)小原浩二

会員投稿

9月10日 銀座アスター賓館

東京三見会 (お茶の水)



東京三見会は三見中学校同窓会です。昨年から名称を変えました。今年は 16 回目の同窓会です。今年はリオ五輪の年、衆議院議員の河村建夫さんが自民党を代表し、又日本卓球協会名誉副会長として、日本チームの応援にリオ五輪に行かれました。その時の様子をアルバムにして持ってこられたので、話を伺いながらオリンピックの話で盛り上がりました。今回はそれぞれの近況報告もバッチリやって、二次会は毎回恒例、神田明神にお参りをし境内にある天野屋さん(本作り甘酒で神田明神名物)で甘酒をいただきました。来年の東京三見会は 9 月 9 日(土)に銀座アスターで行います。

坪井良子(東京都在住)

情報アラカルト

関東地区

■東京須佐弥富云

関東地区の須佐地域同郷会。

11月12日(土) 正午〜午後3時

東京都港区高輪(品川駅高輪口)

日立金属高輪和彈館

(090・2208・5873) 勝山

■「革新の工芸―伝統と前衛」、そして現代」

伝統と前衛を基軸とした日本工芸の流れを主旨とした展覧会。

三輪和彦の花器が展示されます。

9月17日(土)〜12月4日(日)

東京都千代田区北の丸公園1・1

東京国立近代美術館工芸館

(03・5777・8600)

■「瀬祭」秀でた幸せを求めて〜萩市内のおかあさんコーラス

「コーラスわらび」(25人)などが出演する演奏会。指揮は有田知永(萩高27期・昭和50年卒)です。

11月4日(金)午後1時30分〜

東京都千代田区紀尾井町6・5

紀尾井ホール

(問) 音楽事務所アシスト

(03・33304・9250)

■「三輪華子展みらいさびハリ」

11月23日(水・祝)〜29日(火)

東京都中央区日本橋室町1・4・

1 日本橋三越本館6階美術特選画廊

(03・3274・8472)

■下瀬信雄写真展「つきをゆびさす」

12月7日(水)〜20日(火) 午前10時30分〜午後6時30分(最終日は午後3時まで)

東京都中央区銀座7・10・1

STRATA GINZA 1 F ニコンプラザ銀座内

銀座三三三サロン

(03・5537・1469)

■「岡田裕・泰父子展」萩に生きる〜

平成29年1月11日(水)〜17日(火)

東京都中央区日本橋室町1・4・

1 日本橋三越本館6階美術特選画廊

(03・3274・8472)

■「ふりそぐく白の世界」岐阜県美術館+現代陶芸美術館コレク

ション展〜

白の造形に焦点を当てた展覧会

三輪和彦の花器が展示されます。

9月3日(土)〜12月18日(日)

岐阜県多治見市東町4・2・5

岐阜県現代陶芸美術館ギャラリー

II (0572・28・3100)

関西地区

■萩同郷会(関西)

4年に1度の関西在住の萩出身者の同郷会。

11月27日(日) 正午〜午後3時

大阪市中央区天満橋京町(地下鉄天満橋駅)

大阪キャッスルホテル 3階錦城閣

(077・567・1188) 伊藤

■藤田美術館「桃山から江戸へ」

「桃山」と「江戸」、それぞれの時代を代表する作品が展示されます。

9月10日(土)〜12月11日(日)

大阪市都島区網島町10・32

藤田美術館

(06・6351・0582)

■下瀬信雄写真展「つきをゆびさす」

平成29年1月19日(木)〜25日(水)

午前10時30分〜午後6時30分(最終日は午後3時まで)

大阪市北区梅田2・2・2ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー13階ニコンプラザ大阪内

大阪ニコンサロン

(06・6348・9698)

中国地区

■「十二代三輪休雪展」祈り花よ咲け〜

11月9日(水)〜14日(月)

広島市中区胡町5・22

天満屋広島八丁堀ビル7階美術画廊

(082・246・5111)

■日本伝統工芸展

陶芸家 岡田泰、岡田裕、波多野善蔵、松尾藻風の作品が入選しました。

11月17日(木)〜12月4日(日)

岡山市北区天神町8・48

岡山県立美術館

(086・225・4800)

12月7日(水)〜12月25日(日)

松江市袖師町1・5

島根県立美術館

(0852・55・4700)

■「十二代三輪休雪展」祈り花よ咲け〜

平成29年1月11日(水)〜16日(月)

広島県福山市元町1・1

福山天満屋6階美術画廊

(084・927・2111)

山口県関係

■「つばき会」下関支部

下関地区の萩商工高校の同窓会。

11月12日(土) 午後6時〜

下関市竹崎町4・4・8

シーモールパレス2階エメラルドの間

(090・4652・5028) 原

■特別展 国宝

雪舟筆の「四季山水図」をはじめとする国宝や重要文化財などが展示されます。

10月29日(土)〜12月4日(日)

防府市多々良1・15・1

毛利博物館

(0835・22・0001)

■くにもとさたちのアート展

國本ゆうじが山口県美展に入賞した数々の作品、水沼兼雄、國本愛、最年少(3歳)で県美展に初入選した娘の國本採夏(みづむね)の作品を一室に集め展示します。

11月2日(水)〜6日(日)

山口市河原町5・12

クリエティブ・スペース赤レンガ(083・928・6666)

萩市関係

■坂高麗左衛門歴代展

初代から14代目までの作品が展示されます。

10月1日(土)〜11月29日(火)

萩市今魚店町47

公益財団法人熊谷美術館

(08388・255・535)

■企画展「前原一誠と萩の変」

前原一誠没後140年を記念し、前原一誠の人柄や越後での事績、そして萩の変に至るまでが自筆資料などを通じて明らかにされます。

10月15日(土)〜平成29年1月17日(火)

萩市椿東1537

松陰神社宝物殿至誠館

(08388・24・1027)

■萩市民大学教養講座「はぎ時事新聞協賛事業」山本哲也

萩市佐々並出身のNHKアナウンサー山本哲也さんを講師に迎え、「小さな旅」から見えるもの、地域の魅力を再発見」というテーマで開催します。日本各地の美しい

風景と人々の暮らしを紹介する番組「小さな旅」(総合テレビ)・日曜日午前8時〜8時25分)のキャスターとして出演中。



山本哲也さん

11月15日(火)午後6時30分〜8時

萩市江向495・4

萩市民館大ホール

(問) 萩市文化・生涯学習課

(0838・25・3590)

■吹奏楽による第九演奏会

11月20日(日)午後2時30分〜

前売券1000円(当日1500円)

巴

萩市江向495・4

萩市民館大ホール

(問) 萩発愛のメッセージ・萩合唱団事務局

(0838・25・3215) 杉

出版情報

■一坂太郎著「昭和史跡散歩東京篇」

東京都内の158カ所の史跡から昭和史を読み解く。

定価972円(税込)

イーストプレス(イースト新書)

■「内田青虹歴史画集」ガラシヤ

よりひとすじの道へ

日本画家内田青虹(萩高5期

昭和28年卒)による歴史画の集大成。

A4変形版、112ページ

定価2500円(税別)

株式会社美術年鑑社

■日本経済新聞「ふるさと再訪山口・萩」連載

阿武町出身の嶋沢裕志(編集委員)が日本経済新聞で10月1日から毎週土曜日に連載中(全13回予定)。

10月のテーマは観光、夏みかん、萩しーまーと、萩カラス。

■萩・幕末維新検定問題集

萩ゆかりの人物や歴史などを学ぶ「第4回萩・幕末維新検定」の改訂版問題集。問題数383問、検定日は来年2月12日。

A5版、209ページ

定価1500円(税込)

(問) NPO萩まちじゅう博物館

(0838・25・3177)

新規(再)加入会員

古屋芳光 (山口市)
進藤牧子 (福岡県春日市)
伏谷晃司 (福岡県北九州市)
外山知志 (福岡県春日市)
岡本俊美 (福岡県北九州市)
大津久和 (萩市)
横山繁 (萩市)
安田繁行 (萩市)
三井幹夫 (山口県宇部市)
渡部真美 (東京都町田市)
岡浩司 (萩市)
安田素志 (萩市)
中谷伸 (萩市)

大谷憲史 (山口県下松市)
松本和枝 (山口県周南市)
佐々木紀生 (福岡県小竹町)
廣中浩毅 (福岡県北九州市)
坂中保夫 (萩市)
廣澤洋子 (福岡県北九州市)
岡英和 (大阪府枚方市)
井上守 (山口市)
文岡博利 (山口市)
山本泰之 (山口市)
田村尚志 (山口市)
吉岡龍太郎 (山口市)
大庭博子 (山口市)
大谷純一郎 (山口市)

(8月27日〜10月21日) 27人

テレビ情報

■「につぼん縦断こころ旅」16秋

火野正平が訪ねる忘れられない景色、大切な人との出会いの場所など。山口県内は11月7日から放送予定。

11月7日(月)〜11日(金) 午前

吉田松陰 至誠不屈者未之有也 学校を創り 町を動かす

萩・幕末維新 検定問題集 改訂版

長州ファイブ 萩反射炉 久坂玄瑞 四境戦争 坂本龍馬 高杉晋作 版籍奉還 伊藤博文 工部省 廃藩置県

萩・幕末維新検定問題集

7時45分〜、午後7時〜 NHKBSプレミアム

■「歴史の道歩き旅」

古の旅人が歩んだ道へ、タレントが道端にある小さな歴史の痕跡を発見したり、偶然出会う地元の人々と触れ合う。

11月7日(月)〜11日(金) 午前7時35分〜8時

テレビ東京&系列ネット(テレビ北海道・愛知・大阪・せとうち・九州)

■JR西日本「おとなび」テレビCM

元キャンディーズで俳優の伊藤蘭さんがイメージキャラクターを務める、JR西日本のシニア向け会員サービス「おとなび」のテレビCM撮影が萩市で行われ、11月から全国で放送予定。

■NHK山口発地域ドラマ「朗読屋」

平成29年1月18日(水)午後10時〜10時59分

NHKBSプレミアム

プレゼント

①陽信孝著、映画の原作「八重子のハミング」(小学館文庫)を2名様

②「萩・幕末維新検定問題集」を2名様

③マシヤマ印刷発行「吉田松陰カレンダー」を2名様

■応募方法 ハガキに品名、住所

氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。11月30日(消印有効)。

レンタルハウス「はぎ風鈴」

萩市へ里帰りされるご家族を中心に利用されています。一棟貸切1日1組限定の貸別荘スタイル。

基本料金 1泊2万8000円

萩市椿4163・2(青海、市民病院近く) 代表 平田洋美

0838・21・7559

※次号で紹介いたします。

編集後記

「シン・ゴジラ」「君の名は。」と大ヒットが続く日本映画界。今秋は小説を原作とした「怒り」「何者」「永い言い訳」と話題作の公開が続く。その中でわれらが陽(信孝)先生の献身的な妻への介護を綴ったノンフィクションを原作とした「八重子のハミング」の山口県先行上映、念願の映画化実現を応援していきたい。

心揺さぶる演説で支持を上げた(米国在住記者)B・サンダーズ敗れ、不毛な米大統領選の年に、B・テイランのノーベル文学賞は意義深い。

「今は敗者でも、やがては勝者になるのかもしれない。今は一番の者も、やがてはビリになる。だって時代は変わっていくのだから。」

(広報特別参与 山本)

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,700人

平成29年3月4日(土)
萩・明倫学舎オープン

本館には、観光インフォメーションセンターや飲食スペースなどを整備、2号館(有料)には、世界遺産ビジターセンター、幕末ミュージアムなどを置く。3・4号館は2019年春に開館する予定です。

萩
明倫学舎
HAGI MEIRINAKUSHA
萩市江向602番地

萩・明倫学舎

開館時間 午前9時～午後5時
(飲食スペースは午前11時～午後9時まで)

観覧料 本館無料
2号館 大人300円、高校生200円
小・中学生100円(団体2割引)

駐車場 普通車 約180台(310円/1回)
大型バス 10台(1,030円/1回)

問い合わせ 萩市総務企画部 萩・明倫学舎推進課
TEL (0838) 25-3117



2016 着物フォトコンテスト

グランプリ「10月(October)の空に舞う」
内山省三(山口市)

文字を入れたらインパクトのあるポスターになる。青空をバックに表情、飛び上がった姿をうまく使っている
(審査委員長)

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 11月12日(土)、13日(日)10:00～16:00
◇萩ふるさとまつり 中央公園ほか
- 11月13日(日)8:00～ 中央公園
◇萩時代まつり 市内各所
- 11月26日(土)～平成29年1月5日(木)
17:30～23:00
◇萩イルミネフェスタ JR萩駅前
- 12月1日(木)～31日(土) 17:30～23:00
◇ウインターイルミネーション 市役所
- 12月2日(金)～平成29年1月3日(火)
17:30～23:00
◇ふれあいステーション
須佐イルミネーション JR須佐駅前
- 12月11日(日) 10:00～
◇萩城下町マラソン 市内各所
- 12月27日(火)～31日(土) 9:00～18:00
◇萩・年末お魚市 道の駅「萩しーまーと」
- 平成29年1月2日(月) 13:30～
◇萩市成人式 萩市民館大ホール



申し込みに 一般社団法人
萩ものがたり事務局
☎0838・25・3233



51 幕長戦争
つくのぶ
三宅紹宣
(広島大学名誉教授)



52 わが夫、高杉晋作
一坂太郎
(萩博物館特別学芸員)

山口県立萩美術館・浦上記念館だより ☎0838・24・2400

開館20周年記念特別企画展II すみすり

赤間硯の造形

平成29年1月15日(日)まで
山口県の伝統工芸として知られる赤間硯。赤間関(下関市)でつくられたところから赤間関硯とも呼ばれる「赤間硯」は、その起源が鎌倉時代初期まで遡るとされ、江戸時代には質の高い作硯技術を発達させ、実用的な書硯から鑑賞硯まで幅広く制作されてきました。

本展では、近世赤間関硯の伝世品から現代の「赤間硯」までを展示し、その豊かな造形性を紹介します。



ほりおかたくじ そうたい ほぞ
堀尾卓司「双体(石の柄)」

■観覧料 一般300円、70歳以上の方・学生200円、18歳以下無料
■休館日 11月7日(月)、11月21日(月)、12月12日(月)、12月26日(月)～29年1月1日(日・祝)

萩博物館だより ☎0838・25・6447

江戸時代の科学と技術

—天文・医学・機巧—

12月4日(日)まで

この企画展では、近年、萩市に寄贈された小川忠文氏の収集資料(小川昶苦集=コレクション)の中から、天文・医学・機巧に関する器物資料を中心に展示し、江戸時代の科学と技術の一端を紹介します。

企画展
萩・夏みかん物語

12月17日(土)～平成29年4月9日(日)まで



象限儀と担当の道迫学芸員

■開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■年中無休(年末年始も開館)
■観覧料 一般510円、高校・大学生310円、小・中学生100円